

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児者サポートセンターてとて 児童発達支援センター りんごのほっぺ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月10日		～ 2025年 3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○従業員評価実施期間	2025年 3月5日		～ 2025年3月15日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて支援を行っている。	子ども一人ひとりの好きな遊びを保障しつつ、小集団で楽しめる活動を考えて子ども同士が繋がれる機会を設けている。	活動内容の幅を広げる
2	インクルージョン推進の観点から併行利用や移行に向けた支援を行い、保育所等との間で情報共有と相互理解を図っている。	送迎時に子どもの様子や成長している姿、課題等について伝えあっている	保護者が悩みを気軽に話せる場や機械を設けたい。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を図っている。	連絡帳で家庭の様子と施設での様子を伝えあっている。 半年に一回の面談で具体的な子どもの成長や課題について共通理解を図る	保護者が悩みを気軽に話せる場や機会を設けたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童発達支援センターや障がい児通所支援事業所等との連携が不十分。	他事業所との関わりの場が会議のときのみとなっている。	研修や会議等、積極的に参加し、関わりの機会をつくる。
2	家族等が参加できる研修の機会や情報提供等ができていない。	情報集めができていない。	保健師さんや関係機関に問い合わせ、研修等の情報を集める
3	安全計画や避難訓練等について、保護者の周知が不十分であった。	保護者への周知の仕方が連絡帳やおたよりのみになっている	保護者説明会登の行事やホームページも活用し周知を行っていく。